

家庭学習のメニュー，やり方（１・２年生）

☆日づけをノートの上に書く。

こくご 国語

1 【音読練習の仕方】

- ① 自分でレベルを決めて音読をする。

レベル 1 指でなぞりながら
2 本を持って、よいしせいで
3 スラスラと
4 気持ちよくこめて



- ② さいごの１回は、お家の人に聞いてもらい、サインをもらう。

[練習のポイント]

- ・音読力をつけることは、小学校での基礎の基礎である。低・中・高学年を問わず、徹底練習をする。
- ・レベルを決めることで、練習の目的を意識化する。
- ・相手意識を持たせるために、最後の１回は、お家の人が必要聞く。

2 【漢字練習の仕方】

- ① 漢字を正しくうつす。（おくりがなも書く。）
② 読みがなを書く。
③ のこりのマスに漢字練習をする。
④ 見直しをする。

・マスからはみださずに書けているか。
・お手本の形と同じか。
・読みがなは、しっかり書けているか。
・「。」はついているか。

- ⑤ たしかめチェックをかく。（☹️😊😊😊）



[練習のポイント]

- ・丁寧に正しい字を書くということを意識しながら覚える。
- ・見直しをすることで、習得が確実になる。
- ・最後にたしかめチェックをし、達成感を味わうようにする。

3 【暗唱^{あんしょう}の仕方^{しかた}】

- ① 暗唱^{あんしょう}するものをえらぶ。(今月^{こんげつ}の詩^し、教科書^{きょうかしょ}の詩^し など)
- ② 手でかくしたり見^みたりしながら、少^{すこ}しずつおぼえる。
- ③ さいごの1回^{かい}は、お家^{うち}の人^{ひと}に聞^きいてもらい、サインをしてもらう。



[練習のポイント]

- ・低学年は暗唱を楽しんで、何度も繰り返しながら覚えることができる。
- ・覚えたことを他から認められることが習得への意欲となるので、最後の1回はお家の人が聞く。

4 【読書^{どくしょ}の仕方^{しかた}】

- ① 文字^{もじ}のある本^{ほん}を読む。
- ② 分^わからない言葉^{ことば}をお家^{うち}の人^{ひと}に聞^きく。



[練習のポイント]

- ・語彙数は、読書量と深く関わる。読書量を増やす時間を多くする。
- ・語彙数は、経験・体験・交流等、生活の広がりとは深く関わる。分らない言葉を知っている言葉と関連づけるようにする。

5 【ピカピカ視写^{ししや}の仕方^{しかた}】

- ① 国語^{こくご}の教科書^{きょうかしょ}をノート1ページ分^{ぶん}、ていねいに視写^{ししや}する。
(時間^{じかん}をかけ、いちばんきれいな字^じで書^かく。)

- ・ノートからはみ出^ださない。
- ・マスからはみ出^ださない。
- ・書^かき始め^{はじ}めの位置^{いち}に気^きをつける。



[練習のポイント]

- ・丁寧さを重視する。丁寧に書くポイントを見ながら、丁寧に書くことはどういうことなのか、意識しながら書けるようにする。
- ・最初の視写のページは丁寧に書いているので、最後に最初のページと見比べる。

6 【ミニ作文作り】

- ① 初^{はじ}めの1マスあける。
- ② 文^{ぶん}の組^くみ立^たてを考^{かんが}える。

- ・いつ、どこで、だれが、どうしたかが分^わかるように書^かく。
- ・「はじめに」「つぎに」「さいごに」を使^{つか}って書^かく。

- ③ 読^よみ直^{なお}す。

- ・「,」や「。」がついているか。
- ・「を, は, へ」があっているか。
- ・気^き持^もちは入^{はい}っているか。
- ・「 」が正^{ただ}しく使^{つか}えているか。



[練習のポイント]

- ・長い文章を綴^{つづ}ることを避^さける。(書^かくことの抵抗^{ていこう}を少なくするため。)
- ・3文日記→題^{だい}を与^{あた}える→条件^{じょうけん}をつけるなど、書^かくことに変^へ化^{くわ}を与^{あた}えるのもよい。

7 【計算練習の仕方】

- ① 半分（5～10だい）のもんだいをする。
- ② 見直しをする。
- ③ のこりのもんだいをする。
- ④ 見直しをする。

- ・マスにはみださずにか書いているか。
- ・ていねいな文字をか書いているか。
- ・もう一度、いちどけいさん計算をする。



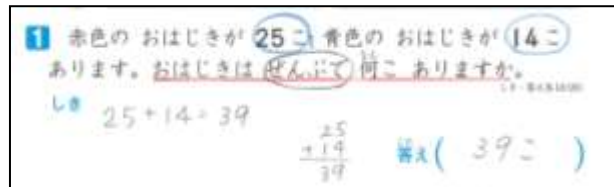
- ⑥ たしかめチェックをする。(🤔🤔🤔)

[練習のポイント]

- ・見直しをすることで、習得が確実になる。
- ・最後にたしかめチェックをし、達成感を味わうようにする。

8 【文章問題の仕方】

- ① どんな問題か、注意して読む。
- ② たずねていること(赤), わかっていること(青)にしるしをつける。
計算をきめる言葉(合わせると, のこりはなど)に丸をつける。
- ③ 問題場面をイメージし, もう一度読み返す。
- ④ 図をかく。
- ⑤ 式をつくり, 答えを書く。
- ⑥ 答えが問題に合っているか確かめる。
- ⑦ 見直しをする。



- ・たずねていること(赤)を見て, 答えの単位があっているか。

- ⑧ たしかめチェックをかく。(🤔🤔🤔)

[練習のポイント]

- ・自立的な学習の構えが育っていない時期は、教師から指定された問題をする。
- ・「尋ねていること」「分かっていること」「計算を決める言葉」等、文章問題の解き方については、日常の授業で教える。
- ・手がかりとなる数字や言葉に着目し、問題場面をイメージする。
- ・図式化して関係づける作業、思考活動を丁寧に行う。

- ・図を基に、公式を活用したり、計算を決定する言葉を活用したりして立式をする。（思いつきの立式をすることがよくある。図と式とのつながりに注目させ、式を確かめさせる。）
- ・見直しをすることで、習得が確実になる。
- ・最後にたしかめチェックをし、達成感を味わうようにする。

9【暗記練習の仕方】

- ① 暗記するものをえらぶ。（計算カード、算数の大切な言葉、九九など）
- ② 手でかくしたり見たりしながら、少しずつおぼえる。
- ③ さいごの1回は、お家の人に聞いてもらい、サインをしてもらう。



【練習のポイント】

- ・算数の大切な言葉は、教科書の青色や緑色などで網掛になっている部分や太字になっている部分を覚えることを伝える。
- ・覚えたことを他から認められることが習得への意欲となるので、最後の1回はお家の人が聞く。

今日、勉強したことを思い出しながら

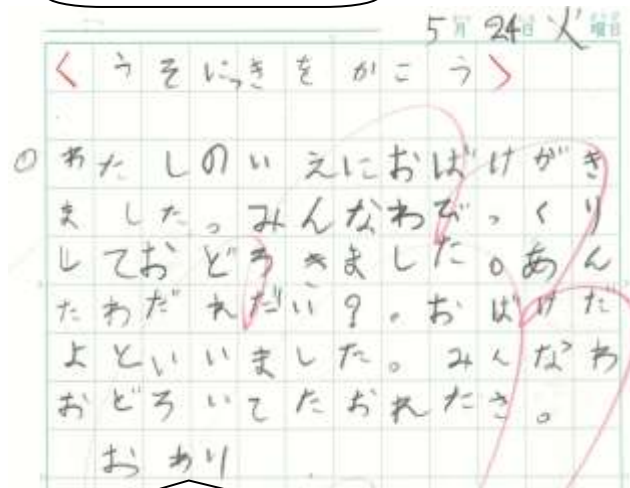
10【ふくしゅうの仕方の例】

- ① 授業のノートを書写す。
- ② ふり返りを書く。分かったこと、友だちの考え、自分の考え、思ったこと
- ③ 問題（かだい）だけを書いてもう1度チャレンジする。
- ④ キーワードだけ書いて、その説明を書く。
- ⑤ 習ったこと（やり方・わけなど）を、説明する。（自分の言葉で分かりやすく）
- ⑥ キャラクターを登場させ、ポイントをふき出しに書く。

べんきょう たの こんな勉強も楽しいよ！

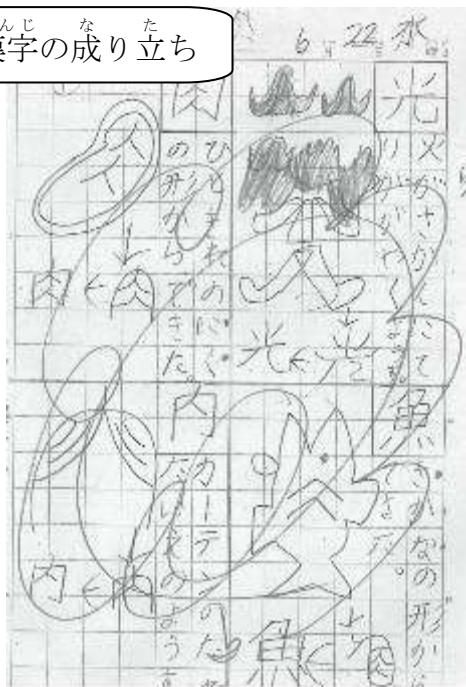
にている漢字^{かんじ}

うそ日記・うそ作文^{にっき さくぶん}



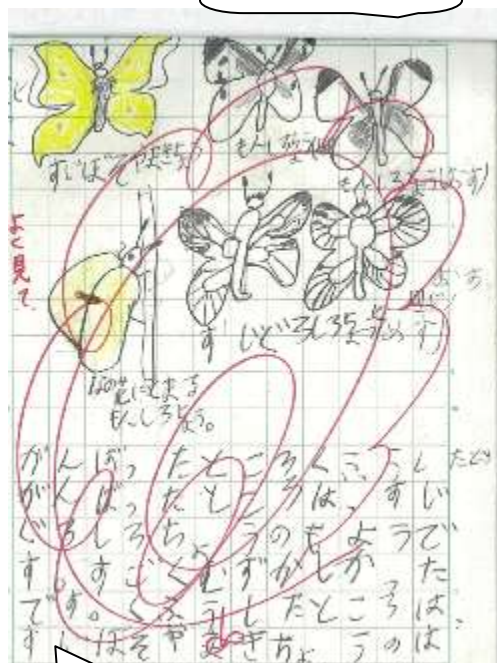
- ・〇〇しょうかい (家族・すきなもの)^{かぞく}
- ・4コマまんが
- ・最近気になったニュース^{さいきんき} など

漢字の成り立ち^{かんじ なりたち}



- ・仲間の漢字・言葉集め^{なかま かんじ ことばあつ}
- ・しりとり
- ・漢字パズル^{かんじ} など

チョウの観察^{かんさつ}



ほかに、星や花の観察などもいいね！
観察したわけや感想も書くといいね。^{かんさつ かんそう か}

こんなこともやってみよう！

- ・わたしの家のひみつをさがろう！
(たたみの数、まどの数など)
- ・m l のつくもののいくつあるかな？
- ・みの回りの三角や四角みつけ
- ・計算ピラミッドにちょうせん！
- ・文章問題作り
- ・線でいろいろなもようをかこう
- ・鏡にした形できるかな？
- ・クイズを作ってみよう。



ねんせい もくひょうじかん 1・2年生の目標時間

まずは、10分！がんばろう！



つぎは、20分！にチャレンジしよう！



30分できたら、最高！



保護者の方へ

大切な親の目

- 1 できたことをほめる
- 2 頑張りを目に見える形で残す
- 3 関心をもっているというメッセージを送る



家庭学習で

- ☆ 生活時間を有効に、計画的に使うことができる子どもになります
(学習や読書などの時間がテレビやゲームに費やす時間より多い)
- ☆ 家庭学習の習慣や方法を身に付けた子どもになります
- ☆ 基礎的・基本的な学習内容を身に付けた子どもになります
- ☆ むずかしい課題でも立ち向かおうと頑張る子どもになります



進んで勉強する力をつける

家庭学習 ガイドブック

～楽しい勉強の仕方が分かるよ！～

2017年4月

中能登町学力向上推進委員会